

6年 Let's go to Italy. 他単元でも活用可能

活用の種類 反転学習等

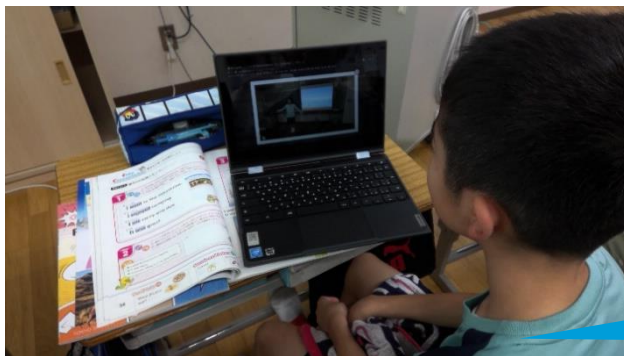
内容

① デジタル教科書 Picture Dictionary の単語帳から発音を聞く宿題



- ・今までは、授業での練習のみだった。
- ・授業で扱う直前や直後に導入する。復習でも取り入れる。
- ・聞いてリピート発音練習以外に、日本語訳で返すパターンも入れる。

② ロイロノートで、自分の発表原稿を書き、その下にデジタル教科書のリンクを貼る。



児童は、自分のタイミングで発音を聞き、発音練習をすることができる。

すぐに指定ページにいけるように、リンクをロイロノートで送っています。

成果

・英語への慣れ親しみ

事前に練習したり、事後に復習したりすることで英語の音に触れる機会が増え、外国語に対する抵抗感がなくなった、減らせたという児童の声があった。

・授業の有効的な時間配分

①では反転学習になり、授業中の練習時間が減ってやり取りに時間がとれた。②では、全体練習の代わりに、主体的な個々の練習に時間がとれた。

・理解度と自信

自分のタイミングで何度も聞いて練習することで、実際の発表で自信をもって披露できる児童が増えた。①では日本語訳を返すことで、意味を理解しないまま発音練習することがなくなり、児童が学びを意識し、教師も支援しやすくなった。②では自分の文に当てはまる単語に気付いたり、見つけたりし、自身の課題部分を納得するまで練習するなど、主体的に学習できていた。

課題

- ・練習回数の差が出る。動画で撮る等、練習量を把握することも適宜必要。
- ・パターン化は慣れと、飽きも出てくる。別の活用アイデアの模索も必要。

6年 Let's think about our food.

活用の種類

録画のリンクを、記録としてデジタル教科書上に残す

内容

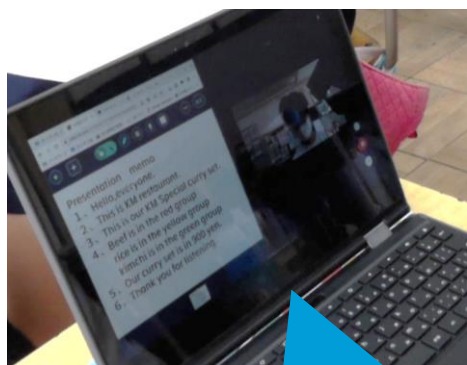
モジュールの時間や家庭学習を利用し、スピーチの練習動画を撮影、デジタル教科書に動画のリンクを貼る。練習動画を視聴して、目的や場面に合っているか、相手に伝わる表現になっているかなどを振り返り、学習調整を行う。発表動画も撮影し、教科書にリンクを貼る。単元末には練習と発表を見比べ、自分の学習の成果を振り返る。



動画へのリンク

食べ物の栄養素や産地についてのスピーチを行い、食生活について考える。

学習の成果を振りかえる。



自分のスピーチ動画と原稿を同時に表示し、スピーチの振り返り、調整を行う。



スピーチに必要な要素

- ①料理名 (例 This is my spaghetti.)
- ②食材の産地 (例 The tomato is from Kumamoto.)
- ③食材の属する栄養素の色 (例 The tomato is in the green group.)
- ④食材についての情報などでせりふをふくらませよう。
(例 The tomato is 300 yen.
The tomato is sweet.
The tomato is my favorite vegetable.)

成果

- ・教科書上にリンクがあることで簡単に開くことができ、動画が撮りっぱなしになることを防げるため、振り返りがしやすい。
- ・CAN DO リストとも照らし合わせ、自分がどの単元で何をできるようになったか確かめることができる。
- ・家庭と学校とのシームレスな学びを推進することができる。

課題

- ・動画を撮影した後、ドライブに保存しなければいけないので手間がかかる。
- ・デジタル教科書上に保存したものは児童同士も教師とも共有ができない。
- ・他の活動で代替できるため、時間をかけてやるメリットが少ない。

6 学年 We all live on the Earth.

活用の種類

教科書に書き込んだもののキャプチャをロイロ等で送る取組



拡大し、カメラマークをクリックするだけで画像がコピーできる。

画像をロイロノート等の学習支援アプリに貼り付け、提出箱に提出させる。



提出箱を共有し、自分と友達の回答と比較する。

内容

- ・デジタル教科書で絶滅危惧種だと思う動物全てに○をつける。(手書きも図形挿入もできる) 画面上のカメラマークをクリックするとクリップボードに自動的にコピーされるため、別タブで開いておいたロイロノートにそのまま貼り付け、提出箱に提出する。自分と友達の回答を比較し、考えを深める。

成果

- ・発言や挙手が苦手な児童も自分の意見を表現し、共有することができる。
- ・共有も一瞬ででき、視覚的に比較できるため、分かりやすい。
- ・写真や字を拡大することもできるため細部まで見やすい。

課題

- ・正解を求めて、こっそり「動物名 絶滅」などと検索しようとする児童がいるため、なるべく短い時間で提出させる必要がある。

5年 Where is the post office? What would you like?

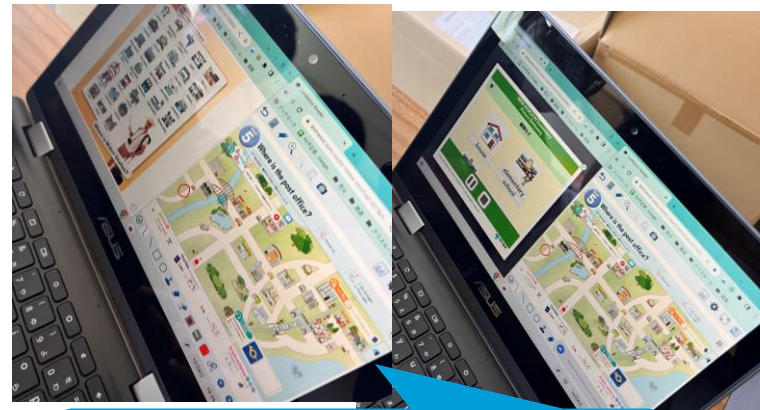
活用の種類 画面分割

内容

学習者用デジタル教科書の隣合わないページ同士や Picture Dictionary を2分割で1画面に表示する。

【Where is the post office?】

- ① Picture Dictionary を使い、行きたい場所と単語を調べ、もう一方の画面で NEW HORIZON のマップを使いながら道案内をする。発音のわからない単語も音声を確認し、自分で調べた。
- ② 聞き取りの問題では関連する動画や資料を見ながら内容をまとめていく活動を行った。



行きたい場所を決めたり、単語の発音を確認したりできる。

資料を開きながら、メモを取ったり考えたことをまとめたりできる。



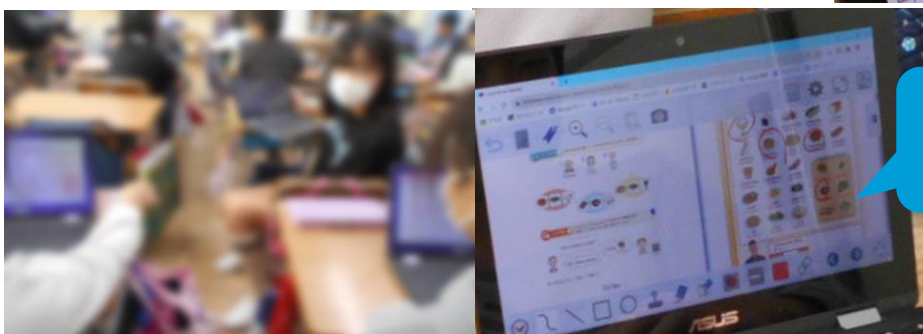
分からない単語もイラストを手掛かりに探せる。

【What would you like?】

Picture Dictionary を使って自分が食べたい料理を決め、値段をたずね合ったり、メニューを考えたりする。そしてそれをペアで注文したり注文を受けたりする。Picture Dictionary に自分が選んだものと相手が選んだもので色を変えて分かりやすいように囲み、発音も確認しながら注文の仕方と単語を学んでいく。



友達が選んだメニューを丸で囲み、聞き取れているか確かめながらやりとりを行う。



成果

- ・必要な単語がすぐに調べられるため、活動までの準備がスムーズに行うことができた。
- ・発音も音声で聞くことができるため、質問が減りより多くの児童の活動をみとることができた。
- ・教科書と違いすぐ書いたり消したりできるため、メモを取りながら聞く児童が増えた。また、自分のタイミングで動画の視聴が始められるため、集中して取り組むことができた。
- ・紙の辞書と交互に使うよりも操作が早く、単語を調べる時間の短縮となり、活動の時間を長くとることができた。

課題

- ・教科書と違い、立ち上げやロードで時間がかかったり、開けなかったりする児童がいる。
- ・やり取りの際も画面をずっと見ている児童がいる。
- ・「見るときは便利だが、書きにくいからまとめるのは紙がいい」などの意見があったため、自分で選択できるような声掛けをしていく必要がある。